

テーマ  
「医療改革とシミュレーション研修」

第2回 日本医療教授システム学会総会

Japan Society for Instructional Systems in Healthcare

プログラム・抄録集



開催期日：2010年2月14日(日) 15日(月) 16日(火) 17日(水)

開催場所：学術総合センター (2月14～16日)

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 Tel 03-4212-6321

富山国際会議場 (2月17日)

富山県富山市大手町 1-2 Tel 076-424-5931

主催：日本医療教授システム学会

組織委員長：奥寺 敬 (富山大学大学院危機管理医学)



みなさまに  
希望をお届けするために。



Working together for a healthier world™  
より健康な世界の実現のために

様々な病気に打ち勝つため、ファイザーは「新薬」の開発に世界最大級の研究開発費を投じています\*。

\*世界企業のR&D投資額ランキング(2009年 欧州委員会まとめ)

ファイザー株式会社 [www.pfizer.co.jp](http://www.pfizer.co.jp)

第2回  
日本医療教授システム学会  
総会

プログラム・抄録集

組織委員長 奥寺 敬 富山大学大学院 危機管理医学（救急・災害医学）

INDEX

ご挨拶 .....	3
日程表 .....	4
会場へのご案内 .....	7
会場図 .....	8
参加者へのお知らせ .....	9
プログラム .....	12
国際医療教授システムシンポジウム 2010in 富山 .....	19
抄 録 .....	21



# ご挨拶

## 医療改革とシミュレーション研修

第2回日本医療システム学界総会 組織委員長

奥寺 敬 富山大学大学院危機管理医学  
(救急・災害医学)

第2回の日本医療教授システム学会(JSISH)を担当させていただきます。

当初は、草の根レベルの心肺蘇生コースからはじまった我が国の臨床シミュレーション研修は、ここ10年ほどで飛躍的に普及しました。いまや医学生教育、卒後初期臨床研修、後期研修において欠かすことのできない方法論として幅広く定着しつつあります。

また、様々な教育予算や地域医療への支援策等で、シミュレーションセンターまたはそれに相当するユニットの設置が進んでおり、むしろ人材不足やコンテンツ不足が表面化しつつあります。本学会は、新の意味での医学の学びを支援することを目標として立ち上げられたばかりの新人ですが、社会からの期待は予想以上のものがあり、社会的な存在意義も日に日に大きくなっております。

今回の主題は、すでに国産の臨床シミュレーション研修として海外へ発信する段階になっている ISLS(脳卒中初期診療)コース、臨床シミュレーション研修の最大の課題であるまとめかたと研修システムそのものの評価、臨床シミュレーション研修を研修内容に包括するであろう救急患者緊急度判定システム開発、災害領域のシミュレーション、新年度より努力義務化される新人看護師の研修に対する提案、などを取り上げます。さらに医師と歯科医師のコラボレーションである DCLS(歯科診療危機対応)コースとワークショップも開催し、歯科領域の研修についての提案も企画しています。

これらの主題は、2009年11月現在での企画ですので、さらに2月の学会期日までに持ち上がった新たな話題も可能な限り取り上げる予定ですので、各位からの演題応募、提案などを歓迎いたします。

学会の場を活用して、活発な議論が展開されることを祈念しています。

2月14日(日)

# 日程表

	中会議場(1)	中会議場(2)	中会議場(3)+(4)	会議室201
9:00				
10:00	<p>JSISHコース 10:00~13:30</p> <p><b>患者急変対応コース for Nurses プロバイダーコース (モニターコース)</b></p> <p>ファシリテーター: 瀬川 久江 (□□□□□□□□□□ □□)</p>	<p>JSISHコース 10:00~13:00</p> <p><b>Lorry's クリティカル シンキングセミナー &lt;午前コース&gt;</b></p> <p>ファシリテーター: 岩本 由美 (呉大学) チーム中村</p>	<p>10:30~18:00</p> <p>JCSO (日本臨床シミュレーション機構) コース</p> <p><b>DCLSコース</b></p>	
11:00				
12:00				
13:00				
14:00		<p>JSISHコース 14:00~17:00</p> <p><b>Lorry's クリティカル シンキングセミナー &lt;午後コース&gt;</b></p> <p>ファシリテーター: 岩本 由美 (呉大学) チーム中村</p>		
15:00	<p>JSISHコース 14:30~18:00</p> <p><b>患者急変対応コース for Nurses ファシリテーターコース</b></p> <p>ファシリテーター: 瀬川 久江 (□□□□□□□□□□ □□) 荒井 直美 (□□□□□□□□□□ □□)</p>			
16:00				
17:00				<p>16:30~18:00</p> <p><b>JSISH 理事会</b></p>
18:00				

# 2月15日

	記念講堂	中会議場(1)+(2)	中会議場(3)+(4)	ポスターセッション	特別会議室101
9:00	<p>演者:奥寺 敬 (富山大学大学院危機管理医学)</p> <p>Keynote 9:30~10:00 医療改革とシミュレーション研修</p>	<p>9:00~11:00</p> <p>CTAS (救急外来緊急度判定) 基礎セミナー</p>	<p>9:15~12:00</p> <p>JCSO (日本臨床 シミュレーション機構) コース</p> <p>ISLS指導者 養成ワークショップ</p>	<p>9:30~17:00</p> <p>ポスター展示</p>	
10:00	<p>Symposium 1 10:00~11:30 医療改革と シミュレーション研修 司会(予定): 木村 昭夫 (国立国際医療センター) 澤 智博(帝京大学)</p>	<p>11:00~12:00</p> <p>招待講演 2 CTASの 教育システム</p>			
11:00		<p>司会:奥寺 敬 (富山大学大学院危機管理医学) 演者:Michael Bullard, MD. (University Of Alberta)</p>			
12:00					
13:00	<p>招待講演 1 13:15~14:15 Rapid Response Systems -Toward Patient Centered Medicine 演者:Anne Lippert, MD. (Danish Institute for Medical Simulation (DIMS))</p>	<p>司会:池上 敬一 (獨協医科大学越谷病院)</p>			
14:00	<p>Symposium 2 14:15~15:30 トレーニングコースの経済学 司会:奥寺 敬 (富山大学大学院危機管理医学)</p>	<p>14:00~15:30</p> <p>Panel Discussion 2 効果的・効率的・ 魅力的な 臨床研修のあり方</p>	<p>14:00~17:00</p> <p>CATS(救急医療の 質向上協議会) 救急救命士の 周産期現場における 介助技術の習得コース ファシリテーター: さいたま赤十字病院 助産師</p>	<p>13:30~17:30</p> <p>ISLS/PSLSコース</p>	
15:00	<p>Panel Discussion 1 15:30~17:00 医療改革—患者急変対応と 救急外来医療の質向上 司会(予定): 木村 昭夫 (国立国際医療センター) 浅香えみ子 (獨協医科大学越谷病院)</p>	<p>司会: 平出 敦 (京都大学教育推進センター) 吉田 素文 (九州大学)</p>			
16:00	<p>次回学会総会長挨拶 17:00~17:10 木村 昭夫(国立国際医療センター)</p>				
17:00				<p>17:00~18:00</p> <p>ポスターラウンド</p>	
18:00					

## 2月16日 四

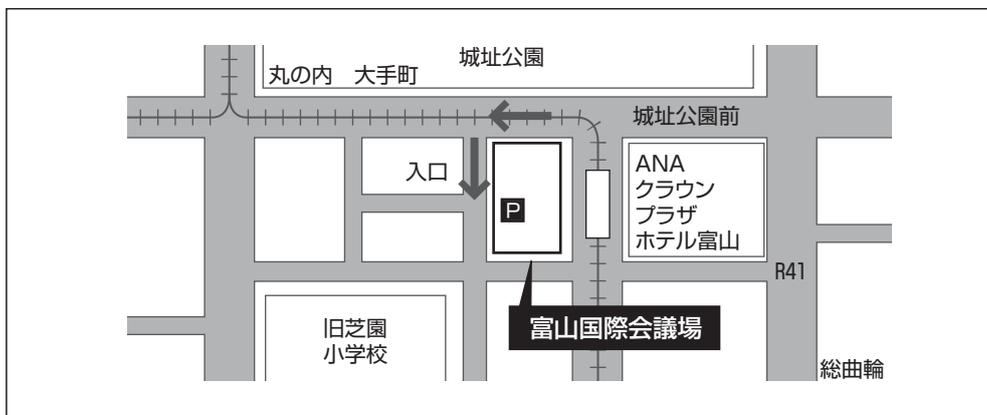
	中会議場(1)+(2)	中会議場(3)+(4)
9:00		
10:00	<p>9:30~12:00</p> <p>人材育成・成功事例に学ぶ ラウンドテーブルディスカッション</p> <p>新人看護師の離職ゼロを 達成したマツダ病院 (広島県安芸郡)に学ぶ、他</p> <p>コメンテーター: 香川 秀太 (筑波大学人間総合研究科心理専攻)</p> <p>司会: 岩本 由美 (呉大学) 浅香えみ子 (獨協医科大学越谷病院)</p>	<p>JSISHセミナー 9:15~12:00</p> <p>クリニカルマップ・ シミュレーション研修の 取りまとめ方</p> <p>司会・運営: 安心院康彦 (川崎市立川崎病院) 中村 丈洋 (香川大学) 奥寺 敬 (富山大学大学院危機管理医学) 他</p>
11:00		
12:00	<p>スポンサードセミナー 12:00~13:00</p> <p>看護師育成と継続学習～ 看護シミュレーションの位置づけ</p> <p>講師:クローズ幸子 (亀田高度専門職研修センター 他)</p> <p>司会:岩本 由美</p>	<p>JSISHセミナー 12:00~13:00</p> <p>EuSimファシリテーション セミナー</p> <p>司会:石松 伸一(聖路加国際病院)</p>
13:00		
14:00	<p>JSISH看護セッション 13:30~16:00</p> <p>看護師育成プログラム・ 再就職支援プログラム</p> <p>司会: 浅香えみ子 (獨協医科大学越谷病院) 岩本 由美 (呉大学)</p>	<p>13:30~16:30</p> <p>シミュレーションセッション</p> <p>ICLS/BLS/ACLS</p> <p>司会:武田 聡 (東京慈恵会医科大学) 松本 尚浩 (水戸済生会総合病院)</p> <p>ISLS</p> <p>司会:加塩 信行 (慈愛会今村病院分院)</p> <p>市民蘇生教育 その他</p> <p>司会:西本 泰久 (大阪医科大学)</p>
15:00		
16:00		
17:00		<p>16:30~18:00</p> <p>JALS策定Meeting</p>
18:00		

# 会場へのご案内



## 学術総合センター

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号  
TEL：03-4212-6000（代表） 03-4212-6321（会議室利用案内）  
FAX：03-4212-6300（会議室利用案内）

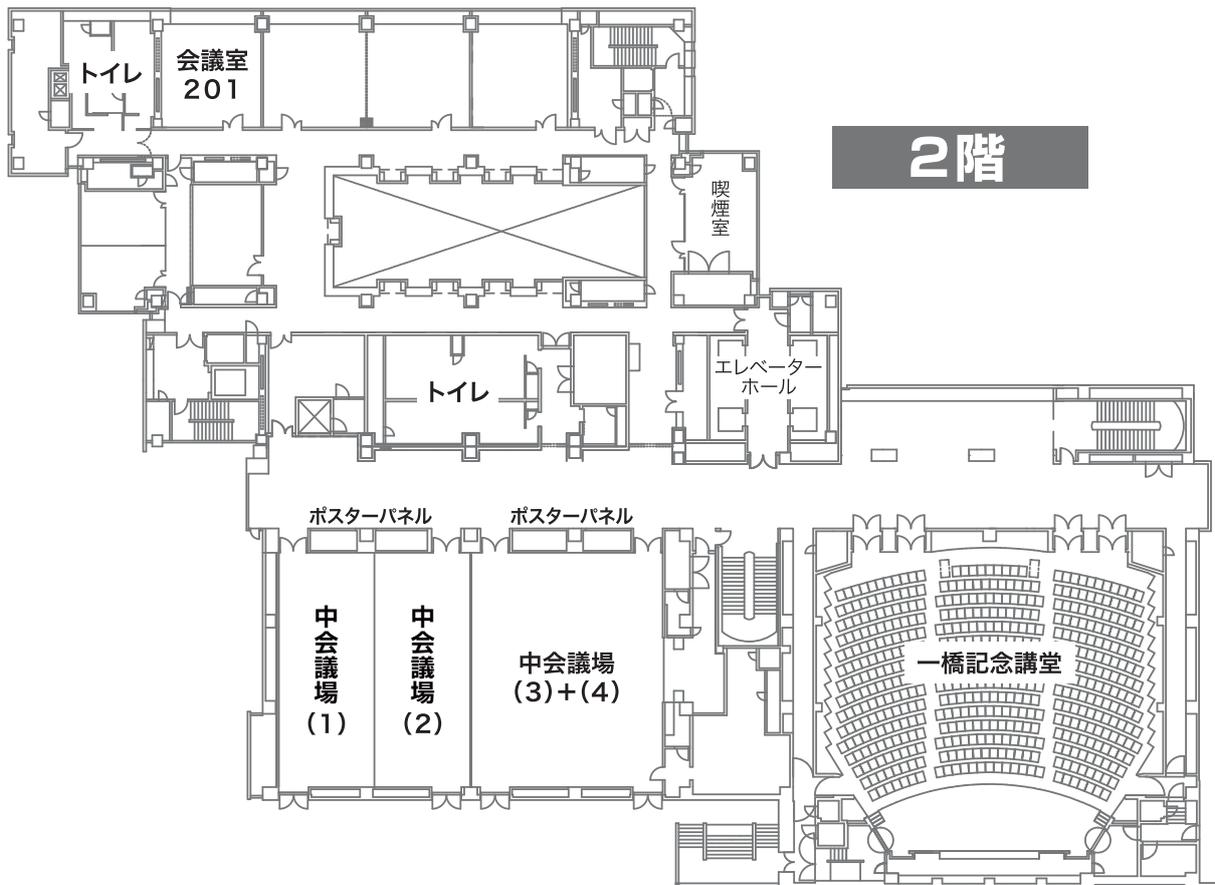
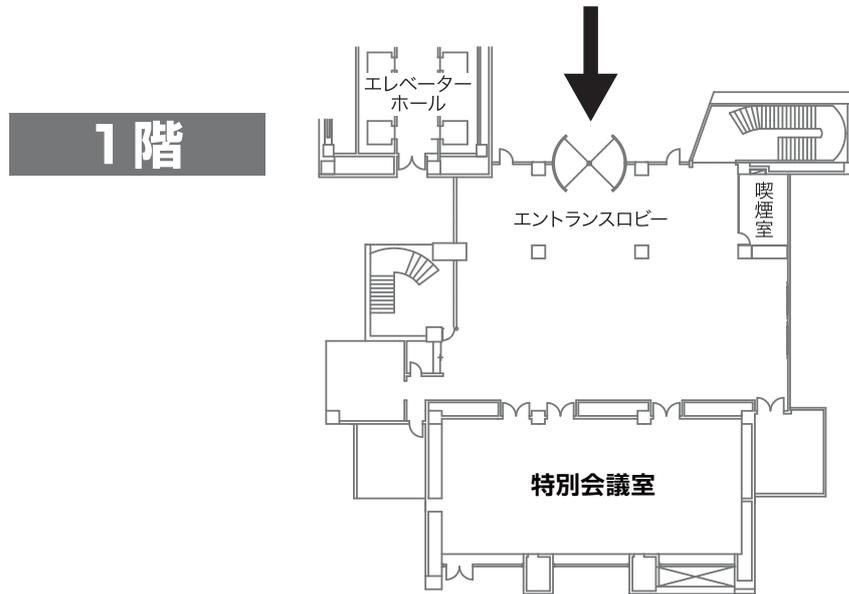


## 富山国際会議場大手町フォーラム

〒930-0084 富山市大手町1番2号  
TEL：076-424-5931

# 会場図

学術総合センター入口



# 参加者へのお知らせ

## 1. 登録受付

当日受付の登録費は次の通りです。学会期間中、会場内ではネームカードを必ず着用して下さい。

会 員	10,000円
非会員	15,000円
学部学生・一般市民	3,000円

## 2. 口演発表の方々へ

学術総合センター2FにPCスライド受付がございます。

先生のセッションが始まる30分前までに、そこで先生のスライドをUSBまたはCD-Rより会場のコンピューターにコピーし、正常に作動するかどうかをご確認ください。Windows、Mac、どちらからもコピーできます。使用できるプレゼンテーションソフトはWindowsはPowerPoint2003, 2007。MacはPowerPoint2004, 2008です。時間節約のため会場備え付けのパソコン使用にご協力ください。また動画は、Power Pointから作動させるもののみ使用可能です。会場PCでの動画再生が先生の準備された動画と同じように作動しない場合は、ご自身のものをご使用いただきますので、パソコンも念のためご持参ください。

口演会場では、演壇にスライドを前進あるいは後退させる為のマウスと、レーザーポインターが準備されております。また時計がございますので、ご自身で発表時間の調整をお願いします。時間厳守にご協力ください。

おひとりの発表時間の上限は次の通りでございます。

シンポジウム	10分発表、5分討論
パネルディスカッション	6分発表、4分討論
ワークショップ	6分発表、4分討論

## 3. ポスター発表の方々へ

ポスター会場は2F、中会議場(1)+(2)の前、中会議場(3)+(4)の前です。ポスターのパネルは、縦200cm、横90cm(掲示有効スペース縦160cm、横90cm)です。パネル左上部の演題番号(20cm×20cm)のみ、総会事務局にて準備します。演題・所属・氏名は、20cm×70cm枠に横書きしてください。

ポスター発表は、2月15日(月)の17時から18時の間に行います。演者の方々はポスターの前で発表の順をお待ちください(司会者がラウンドを行います)。発表時間3分、討論時間3分です。当日はできるだけ16時までにお貼りください。取り外しはポスターラウンド終了後をお願いします。それ以後に残ったものは、事務局にて処分させていただきます。

#### 4. 口演司会の方々へ

特に案内の放送はいたしません。時間になりましたら司会席に上がり、セッションを開始してください。時間厳守をお願いします。計時係はおいてございません。司会席に時計がございますので、それを見ながら、適宜演者にご注意をお願いします。各セッションの発表・討論のスケジュールは次の通りでございます。

シンポジウム	10分発表、5分討論
パネルディスカッション	6分発表、4分討論
ワークショップ	6分発表、4分討論

#### 5. ポスター司会の方々へ

特に案内の放送はいたしません。時間になりましたらセッションを開始してください。一人の発表時間は3分、討論3分です。2月15日(月)17時開始です。

#### 6. 事務局・ホームページアドレス

##### 組織委員長

奥寺 敬

富山大学医学部災害救急医学教授

##### 学会事務局

一般社団法人 学会支援機構内

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F

TEL：03-5981-6011 FAX：03-5981-6012

事務局 E-mail：jsish@asas.or.jp

JSISH Home page：http://www.asas.or.jp/jsish/

事前参加登録 Home page：http://www.asas.or.jp/jsish2nd/

# 謝 辞

本学術集会の開催に際しましては、次の各社からご援助をいただきました。  
ここに謹んで謝辞を表します。

レールダル メディカル ジャパン株式会社

鳥居薬品株式会社

CSL ベーリング株式会社

ファイザー株式会社

アイ・エム・アイ株式会社

株式会社いわさき

株式会社ヴォルフビジョン

日本ライトサービス株式会社

株式会社フォトロン

フクダ電子西関東販売株式会社

共栄商事株式会社

興和創薬株式会社

塩野義製薬株式会社

日本データパシフィック株式会社

株式会社ベネシス

明治製菓株式会社

田辺三菱製薬株式会社

帝人ファーマ株式会社

大正富山製薬株式会社

武田薬品工業株式会社

第一三共株式会社

大日本住友製薬株式会社

# プログラム 1日目

2月14日(日) 学術総合センター

## JSISH コース

10:00～13:30(受付開始9:45)

会場：中会議場(1)

### 「患者急変対応コース for Nurses」プロバイダーコース

ファシリテーター：瀬川 久江

※午後のファシリテーターコース受講者がプロバイダーコースを見学する予定です。

14:30～18:00(受付開始14:15)

会場：中会議場(1)

### 「患者急変対応コース for Nurses」ファシリテーターコース

ファシリテーター：瀬川 久江、荒井 直美

※ファシリテーターコース受講者は、午前中のプロバイダーコースの見学を推奨いたします。

10:00～13:00(受付開始9:15)

会場：中会議場(2)

### 「Lorry's クリティカルシンキングセミナー・午前コース」

ファシリテーター：岩本 由美、チーム中村

※ハワイ大学看護学部のLorry先生が授業で行っているクリティカルシンキングをセミナー形式で行います。  
過去数回、国内で実施しましたが大変好評をいただきました。

※看護師さんだけでなく看護教員、院内教育・研修担当者に最適化しています。あわせてシミュレータの活用方法を紹介します。

※参加者はご自身のノートPCをご持参ください(ソフトウェア体験版をインストールし、使用する予定です)。

14:00～17:00(受付開始13:45)

会場：中会議場(2)

### 「Lorry's クリティカルシンキングセミナー・午後コース」

ファシリテーター：岩本 由美、チーム中村

※午前コースと同じ内容になります。

※参加者はご自身のノートPCをご持参ください(ソフトウェア体験版をインストールし、使用する予定です)。

## JCSO(日本臨床シミュレーション機構)コース

10:30～18:00(受付開始10:15)

会場：会議場(3)+(4)

### 「DCLS コース」

日本臨床シミュレーション機構

# プログラム 2日目

2月15日(月) 学術総合センター

## Keynote

9:30～10:00(受付開始9:00)

会場：一ツ橋記念講堂

### 医療改革とシミュレーション研修

富山大学大学院危機管理医学(救急・災害医学) 奥寺 敬

## Symposium 1

10:00～11:30

会場：一ツ橋記念講堂

### 医療改革とシミュレーション研修

司会(予定): 木村 昭夫、澤 智博

- ※草の根レベルの心肺蘇生コースからはじまった我が国の臨床シミュレーション研修は飛躍的に普及し、いまや卒前教育、卒後臨床研修、そして新人看護職員研修に欠くことのできない方法として幅広く定着しつつあります。
- ※また、様々な教育予算や地域医療への支援策等で、シミュレーションセンターまたはそれに相当するユニットの設置が進んでおり、むしろファシリテーター不足や学習コンテンツ不足が表面化しつつあります。
- ※このシンポジウムでは研修の設計・実施・評価、ファシリテーター養成、医療再生などのテーマを取り上げたいと思います。

## 招待講演 1

13:15～14:15(同時通訳)

会場：一ツ橋記念講堂

### Rapid Response Systems-Toward Patient-Centered Medicine

司会: 池上 敬一

演者: Anne Lippert, MD.

Danish Institute for Medical Simulation (DIMS)

- ※2009年にコペンハーゲンで開催された第5回国際Rapid Response Systems/Medical Emergency Teamsシンポジウムの会長を務めたDIMSのAnne先生の講演です。
- ※RRS/METの本質は「医療を必要とする患者に、必要な医療を迅速に提供する」ことにあります。
- ※欧米では院内における患者急変対応・院内救急システムという考え方から、「患者中心の医療」に考え方がシフトしてきています。
- ※この講演では、RRSとはどのようなシステムなのか、その効果は、そして今後のRRS / METのあり方について紹介していただきます。

## Symposium 2

14:15～15:30

会場：一ツ橋記念講堂

### トレーニングコースの経済学

司会：奥寺 敬

- ※我が国の臨床シミュレーション研修のほとんどは経済的な持続性が担保されないまま行われています。
- ※コンテンツ作成、資器材の調達、インストラクターの確保、コースの情報を提供する ICT 管理、受講者への資料提供、インストラクターの研修など、トレーニングコースを継続的に運営するにはコスト計算が必須になります。
- ※しかし、我が国には「トレーニングコースは無料、コース運営は無償のボランティア活動」という風潮が蔓延しています。
- ※プロフェッショナルが対面式 (face-to-face) でプロフェッショナルを育成するトレーニングコースは、何よりも学習の質の確保が重要になりますが、その基盤はトレーニングコースの経済学です。
- ※このシンポジウムではこれまで語られることのなかったこの問題を取り上げ、今後の健全で良質なコース運営のありかたについて経済的な観点から議論したいと思います。

## Panel Discussion 1

15:30～17:00

会場：一ツ橋記念講堂

### 医療改革－患者急変対応と救急外来医療の質向上

司会(予定)：木村 昭夫、浅香えみ子

- ※入院患者の急変対応 (acute medicine) と救急外来での診療 (emergency medicine) は全ての医療者が身につけるべき基本的な医療タスクに位置づけられます。
- ※患者急変対応と救急患者の診療のアプローチ・タスクには共通する部分が少なくありません。
- ※一見異なる二つの領域における学習・訓練を効果的・効率的・魅力的に行う考え方と方法についてディスカッションしたいと思います。

17:00～17:10

会場：一ツ橋記念講堂

第3回日本医療教授システム学会総会長の挨拶 木村 昭夫

## CTAS (救急外来緊急度判定) 基礎セミナー

9:00～11:00

会場：第1会場 (中会議場1+2)

## 招待講演 2

11:00～12:00

会場：第1会場 (中会議場1+2)

### CTAS の教育システム

司会：奥寺 敬

演者：Michael Bullard, MD. University Of Alberta

## Panel Discussion 2

14:00～15:30

会場：第1会場(中会議場1+2)

### 効果的・効率的・魅力的な臨床研修のあり方

司会：平出 敦、吉田 素文

#### 医療系教育におけるFDのあり方 － Faculty development から Facilitator development へ

医師臨床研修のゴールは、患者・家族と社会が必要とする医療を社会的に受容される方法で提供できる医師の養成にあります。すべての医師に求められる能力として「患者安全を最優先にできる」「チーム医療を推進できる」がありますが、これは研修医にも同様に求められます。一方指導医には、「短期間のローテーションで、患者安全とチーム医療を遂行する基本的コンピテンシーの獲得を支援し、それを社会に保障する」能力が必要になります。

医師臨床研修が成果をあげるには、1970年代にルーツをもつ従来の「臨床研修指導医養成ワークショップ」をバージョンアップする必要があると考えられます。

このパネルディスカッションでは、「高度な医学知識を teaching」するだけでなく、現場に出る前のリハーサル(シミュレーション)および現場での学びを確実に・短期間で・イキイキと支援する facilitator 育成の必要性・あり方について議論したいと思います。

## JCSO(日本臨床シミュレーション機構)コース

9:15～12:00(受付開始9:00)

会場：第2会場(中会議場3+4)

### 「ISLS 指導者養成ワークショップ」

## CATS(救急医療の質向上協議会)

14:00～17:00(受付開始14:45)

会場：第2会場(中会議場3+4)

### 「救急救命士の周産期現場における介助技術の習得コース」

ファシリテーター：さいたま赤十字病院助産師

## ポスター展示

9:30～18:00(受付開始9:00)

会場：2F 会議室前

## ポスターラウンド

17:00～18:00

## JCSO(日本臨床シミュレーション機構)コース

13:30～17:30(受付開始13:15)

会場：特別会議室(1階)

### 「ISLS/PSLS コース」

# プログラム 3日目

2月16日(火) 学術総合センター

わが国の医療を再生し医療の質・安全を向上するには、医療における看護実践パワーを増強することが不可欠です。病院の看護実践パワーは、新人看護師の能力(看護基礎教育の成果)・看護師数・看護職員の研修体制がうまく連携し、看護チームの能力が最適化されたときに最大になると考えられます。

いま、病院の看護実践パワーを最大化のために、それぞれの病院がそれぞれの工夫を行うことが求められています。具体的にどのような工夫をすればいいのでしょうか？

当学会では、具体的な工夫を考えるには成功事例や失敗事例から教訓・知恵・ヒントを引き出し、それを共有する(それぞれの病院に適用する)ことが大切だと考えています。

2月16日は一日を費やし、病院の看護実践パワーを最大化するための具体的方法について探索いたします。そしてそのプロセスの中から、参加者全員がそれぞれの教訓・知恵・ヒントを「言葉」として現場に持ち帰り、現場の看護実践パワーを強化する「種」としていただきたいと思えます。

## 人材育成・成功事例に学ぶラウンドテーブルディスカッション

9:30～12:00

会場：第1会場(中会議場1+2)

### 「新人看護師の離職ゼロを達成した

### マツダ病院(広島県安芸郡)に学ぶ」、他

司会：岩本 由美、浅香えみ子

コメンテーター：香川 秀太 筑波大学人間総合研究科心理専攻

※これまで看護の現場では「看護師の能力開発(人材育成)」という考え方は十分普及していませんでした。医療の高度化・複雑化に従い、新人看護師に要求される能力が高くなりましたが、その要求水準を満たすための研修体制は整備されていませんでした。これは新人看護師の高い離職率の原因のひとつと考えられています。

※マツダ病院は「新人看護職員の離職率ゼロ」を達成しました。マツダ病院の実践から多くのヒントを学びたいと思えます。

## Sponsored Seminar

12:00～13:00

会場：第1会場(中会議場1+2)

### 「看護師育成と継続学習-看護シミュレーションの位置づけ」(予定)

講師：クローズ幸子 亀田高度専門職研修センター

サギノウヴァレイ州立大学大学院教授・成人継続教育学博士  
医療法人鉄蕉会・経営管理本部・企画部第3部解説準備室長

司会：岩本 由美

## JSISH セミナー

---

12:00～13:00

会場：第2会場(中会議場3+4)

### 「EuSim ファシリテーションセミナー」

講師：Anne Lippert, MD. DIMS, EuSim

司会：石松 伸一

## JSISH 看護セッション

---

13:30～16:00

会場：第1会場(中会議場1+2)

### 「看護師育成プログラム・再就職支援プログラム」

司会：浅香えみ子、岩本 由美

## JSISH セミナー

---

9:15～12:00(受付開始9:00)

会場：第2会場(中会議場3+4)

### 「クリニカルマップ・シミュレーション研修の取りまとめ方」

司会・運営：安心院康彦、中村 丈洋、奥寺 敬 他

近年急速な進歩をみせる各種トレーニングコースにおいて、複雑化した知識や技術をコース最後にどのような形でまとめて受講生に印象付けるか、その必要性や方法についての多くの意見とアイデアを募集します。

## シミュレーションセッション

---

13:30～16:30

会場：第2会場(中会議場3+4)

### 「ICLS/BLS/ACLS」

司会：武田 聡、松本 尚浩

### 「ISLS」

司会：加塩 信行

### 「市民蘇生教育」その他

司会：西本 泰久